

2023 年度 九州若手数学者発表賞 4 名（五十音順）

第 9 回九州若手数学者発表賞受賞者と受賞題目・受賞理由

1. 池田 香凜 ・九州大学 M2

業績の題目 多重ゼータ値およびフルヴィッツゼータ関数の研究

受賞理由：池田香凜氏は、多重ゼータ値およびフルヴィッツゼータ関数の実零点の一意性に関する研究を行い、その成果を日本数学会九州支部例会などの研究集会において積極的に講演を行っている。その研究活動は九州若手数学者発表賞を授与するに相応しい。

2. 岩倉 康樹 ・九州大学 M1

業績の題目 Non-singular extensions of circle-valued Morse functions.

受賞理由：岩倉康樹氏は、微分トポロジーにおける特異点論の問題について研究を行い、その成果を日本数学会九州支部例会などの研究集会において積極的に講演を行っている。その研究活動は九州若手数学者発表賞を授与するに相応しい。

3. 佐々木 裕貴 ・九州大学 M2

業績の題目 三角形分割した平面グラフと組合せゲーム

受賞理由：佐々木裕貴氏は、グラフ理論と組合せゲームについて研究を行い、その成果を日本数学会九州支部例会などの研究集会において積極的に講演を行っている。その研究活動は九州若手数学者発表賞を授与するに相応しい。

4. 西原 夢斗 ・福岡大学 M2

業績の題目 Invariant theory and mod p cohomology rings of some classifying spaces

受賞理由：西原夢斗氏は、コンパクトLie群の分類空間上の写像をコホモロジー論の観点から研究を行い、その成果を日本数学会九州支部例会などの研究集会において積極的に講演を行っている。その研究活動は九州若手数学者発表賞を授与するに相応しい。